

特研修第1－30号
令和2年1月30日

各都道府県知事 殿

独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所
理事長 宍戸和成
(公印省略)

令和2年度インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会
受講候補者の推薦について（照会）

当研究所の各種事業の実施に当たりましては、日頃よりご協力を賜り誠にありがとうございます。

当研究所では、令和2年度インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会を下記のとおり実施いたします。つきましては、別添の実施要項に基づき、貴都道府県所轄の私立学校等における受講候補者を、令和2年4月20日（月）までにご推薦くださいますようお願いいたします。推薦が無い場合につきましても、その旨メールにてご連絡くださいますようお願いいたします。

なお、このことにつきましては、貴都道府県教育委員会に対しても別途照会を行っております。受講候補者数が募集人員を超過した場合には都道府県ごとの受入調整を行うことがありますので、受講候補者の推薦に当たりましては、関係各課と推薦順位等を調整の上ご回答くださいますようお願いいたします。

記

1. 令和2年度特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会
2. 令和2年度交流及び共同学習推進指導者研究協議会

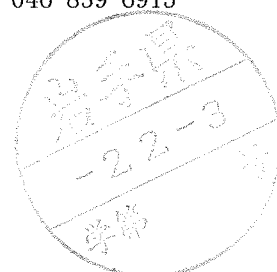
*受講候補者の推薦に係る実施要項及び推薦様式は、当研究所ホームページよりダウンロードすることができます。[\(https://www.nise.go.jp/nc/\)](https://www.nise.go.jp/nc/)

<本件問い合わせ先>

総務部研修情報課研修支援室

Tel : 046-839-6888、6889 Fax : 046-839-6915

e-mail : a-kenshu@nise.go.jp



令和２年度特別支援教育におけるＩＣＴ活用に関わる指導者研究協議会実施要項

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

1. 趣 旨

インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会は、特別支援教育政策上及び教育現場の喫緊の課題に対応した研修会である。本協議会では、各都道府県等の特別支援教育におけるＩＣＴ活用に関わる指導的立場の教職員を対象に、２日間の研修を実施する。

2. 目 的

インクルーシブ教育システムの充実を目指し、障害のある幼児児童生徒に適切な指導・支援を行う上で必要なＩＣＴ活用について、指導的立場にある教職員による研究協議等を通じ、各地域の特別支援教育におけるＩＣＴ活用の推進を図る。

3. 期 日

令和２年７月２１日（火）から２２日（水）までとする。

4. 会 場

国立特別支援教育総合研究所 研修棟他

〒239-8585 神奈川県横須賀市野比５－１－１

電話 046-839-6888、6889（総務部研修情報課研修支援室ダイヤルイン）

5. 研修内容

本研修では、特別支援教育におけるＩＣＴ活用に関する行政説明、講義、話題提供、演習、レポートに基づく研究協議等を行う。

6. 受講者の推薦等

(1) 受講対象

教育委員会・特別支援教育センター等の指導主事及び障害のある幼児児童生徒への指導・支援におけるＩＣＴ活用について指導実績があり、かつ指導的立場にある幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の教員とする。

(2) 募集人員

７０名とする。

(3) 推薦手続

i) 推薦機関は次のとおりとする。

ア 公立学校の教員及び教育委員会・特別支援教育センター等の教職員については、当該都道府県又は指定都市教育委員会

イ 国立大学附属学校の教員については、当該国立大学の担当部局

ウ 私立学校の教員については、当該都道府県の知事部局

ii) 推薦機関は、受講候補者を選定のうえ、別紙様式（推薦様式）により当研究所の理事長（以下「理事長」という。）に推薦すること。

- iii) 2名以上を推薦する場合は、推薦順位を明記すること。
- iv) 推薦期限は、令和2年4月20日（月）とする。

7. 受講者の決定

- (1) 理事長は、推薦のあった者の中から受講者を決定し、その結果を5月中旬を目途に推薦機関に通知する。
- (2) 推薦状況によっては、人数を調整する場合がある。
- (3) 受講者決定の後、受講に当たっての連絡事項を、推薦機関を経由して受講者に連絡する。

8. 研修に関する事前提出物

- (1) 受講者は、協議等に主体的に参加し、課題解決に資するための題材として事前にレポートを作成し、当研究所に提出すること。
- (2) レポートの書式及び提出期限等については、受講に当たっての連絡事項とともに、推薦者を経由して受講者に連絡する。

9. 宿泊施設の利用

受講者は、原則として当研究所の研修員宿泊施設に宿泊すること。

10. 研修に要する経費

受講料は徴収しない。宿泊料その他所要経費については別紙参照のこと。

11. 受講の中止等

推薦機関は、本研修の開催前に受講者の研修派遣を取り止める場合又は他の者に変更したい場合は、その理由を付した書面を速やかに理事長に届け出て承認を得ること。

12. その他

- (1) 本研修修了1年後を目途として、教育委員会等派遣元に対して、アンケート調査等を実施する予定である。
- (2) この要項に定めるもののほか、本研修の実施に関し必要な事項は、別に定める。

研修期間中に要する経費
(令和2年度特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会)

1. 宿泊に伴う経費

【研修員宿泊棟宿泊料】

1泊 1,600円

* 宿泊料には、光熱水料等相当額、寝具リース・クリーニング代を含みます。

* 生活用品（石けん、ゴミ袋等）は各自負担となります。

* 宿泊料は、予め金融機関振込によるものとし、受講者におって連絡します。

* 原則として既納の宿泊料は返還できません。

【研修員宿泊棟居室概要】

* 全室ユニットバス・トイレ・エアコン付きの個室です。

* 机、椅子、ベッド（衣類整理箱付き、時計なし）、ロッカー、電気スタンドを備え付けています。

* 共用スペースに洗濯機、衣類乾燥機、掃除機、冷蔵庫、電子レンジ、アイロン等を備え付けています。

2. 食事代

【研修員食堂定食料金（令和2年1月現在）】

1,590円 （内訳：初日夕食650円、2日目朝食390円、昼食550円）

* 当研究所構内の研修員食堂にて初日の夕食、2日目の朝食及び昼食を用意しますので、受付時に3食分の食券をご購入ください。

* 研修員宿泊棟内での自炊は禁止しています。

独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所理事長 殿

（推薦機関代表者）

令和2年度特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会受講候補者の推薦について

このことについて、下記のとおり推薦します。

記

推薦 順位	ふりがな 氏 名 生年月日	性 別	勤 務 先 (所属機関・部署名) 電話番号	職 名 (職務内容) 【記入例】 教諭（情報部）	経験年数 (ICT活用に関 する指導実績)	備 考	研修歴
1	平成 年 月 日 昭和	男・女			年	<input type="checkbox"/> 特別な配慮が必要	

（記入上の注意）

1. 令和2年4月1日現在で記入してください。
2. 2名以上を推薦する場合は、記入欄を追加したうえで、推薦順位を明記してください。
3. 職名欄には、勤務校における学年、学部又は学級（障害種別）の職務内容を併せて記入してください。
4. 経験年数欄は、ICT活用に関する指導実績（年数）を記入してください。
5. 受講者は、原則として研修員宿泊施設を利用していただきますが、利用しない場合は、その旨を備考欄に記入してください。
6. 受講に際し、点訳、手話通訳、車いす等の配慮や持病等健康面での配慮を必要とする場合は、備考欄の「特別な配慮が必要」に☑を付したうえで、配慮が必要な事項等について具体的に記入してください。後日、配慮を必要とする方の受入準備のため、下欄のご担当者に当研究所より連絡させていただきます。
7. 当研究所の研修受講歴があれば、研修歴欄に、開催年度、研修名等を記入してください。

（連絡担当者）

担当者名	所属・職名	電話番号・Fax番号	e-mail

※ご提出いただいた個人情報に関する事項については、当研究所内において研修事業の運営のために使用します。
その他の目的には使用いたしません。

